

すいたの年輪ネット

地域元気アップ講座 作業チーム

日 時：平成 30 年 10 月 16 日（火）

出席者：中谷氏（吹田市ボラ連）、岸下氏（吹高連）、宮本氏（吹田市民児協）、田口氏（市民委員）
由井氏（市民委員）、中野氏（吹田市社協 CSW）、椎名氏（佐竹台・高野台地域包括）、
平井氏・山下氏（吹田市）、新宅（吹田市社協 生活支援 Co）

欠席者：藤原氏（吹田市人権協）、金戸氏（吹田市社協）、半崎氏（市民ネット吹田）

1. 地域元気アップ講座作業チームについて

・参加者紹介

⇒作業チームメンバーは地域活動やボランティア、市民活動を取り組んでいる委員等から選出。

・今後の流れ

⇒第 2 回すいたの年輪ネット（12 月 20 日）で作業チームの報告（中谷委員）。

2. 地域元気アップ講座の参加呼びかけ

・開催場所（北部） 高齢者生きがい活動センター（千里ニュータウンプラザ 5 階）

（南部） 吹田市勤労者会館（2 階）

・開催日時（北部） 平成 31 年 3 月 6 日（水）14：00～（南部） 同年 2 月 25 日（月）14：00～

・チラシを 12 月までに作成（キャッチコピー、印刷部数など）

・周知方法（広報紙）市報 2 月号、社協だより 12 月号

（団体周知）連合自治会事務連絡会、民児協地区委員長会、吹高連理事会、

地区福祉委員長会議、吹田市ボランティア連絡会役員会

⇒チラシは地域団体等で活動している方より活動していない高齢者を対象に配ったほうが良い。

⇒地域団体等以外で直接高齢者が目にする機会が多い場所に配布・配架する。

・チラシ配架場所案：16 地域包括支援センター

地域ケア会議

高齢者生きがい活動センター

吹田市民はつらつ元気大作戦参加者

介護予防推進員

その他

3. 地域元気アップ講座の内容

設営：全員（13:00 集合）

受付：（委員全員）

進行：（中野委員）

20分 講義「高齢者が社会参加する意義」（金戸委員）

30～40分 すいたの年輪ネット構成団体のプレゼン（活動発表、やりがい／楽しさのPR）

PR 団体（福祉委員会）（ボランティアセンター）（ラコルタ）⇒1 団体約 10 分

10分 休憩

30分 グループワーク

テーマ「講座に参加したきっかけ」「今後やりたい活動」など。

20分 地域活動団体 or テーマ型団体を見学申し込み

地域活動団体：参加者の住んでいる地域団体を見学

⇒毎月定期的に活動実施している市内各地域で団体を見学？

テーマ型団体：ボラセン／ラコルタ団体一覧 or シニアの活動場所リストから選択

⇒ボラセン／ラコルタがコーディネート？

⇒活動体験は地域活動団体 or テーマ型団体にするか、地域活動団体 & テーマ型団体にするか。

・地域活動団体 or テーマ型団体とする。

⇒定期的に活動している地域団体やグループでないと、活動体験の予定が組みにくいのではないか。

・地区福祉委員会は、いきいきサロン、子育てサロンなど各地域で毎月定例実施しているので把握は可能。

・テーマ型団体は、ボランティアセンター／ラコルタの主催活動も事前把握可能。

・福祉委員会活動を体験後、福祉委員等から自治会、高齢クラブ等の活動につなげることは可能ではないか。

・ボランティアセンター活動、ラコルタ活動を通して他のグループに参加するなど活動を広げることは可能。

⇒1 回の活動時間を伝えたら、イメージしやすいのではないか。

⇒3 月の活動に、受講者／受け入れ団体のタイミングが合わない場合は4月に延長するなどしてはどうか。

⇒ボランティアセンター／ラコルタでの体験後、センター／ラコルタ登録団体の活動希望は、必要に応じてコーディネートする。

⇒講座時に「シニアの活動場所リスト」掲載の各活動も紹介する。